

## ヴァンジ彫刻庭園美術館

## 開館15周年記念展「生命の樹」

## Tree of Life

Rosilene Luduvico

小林孝亘

佐々木愛

杉戸洋

スズキコージ

村瀬恭子

持塚三樹

華雪

大矢真梨子

宮崎学

本橋成一

イケムラレイコ

棚田康司

戸谷成雄

Giuliano Vangi



Vangi Sculpture Garden Museum  
in Clematis no Oka 15th Anniversary

2017年4月22日[土] - 11月30日[木] April 22 - November 30, 2017

開館時間：4-8月 10:00-18:00 / 9-10月 10:00-17:00 / 11月 10:00-16:30 (入館は閉館の30分前まで)

休館日：水曜日(5月3日[水]は開館)

入館料：4-10月 大人1,200円(1,100円) / 高・大学生800円(700円) / 中学生以下無料

11月 大人1,000円(900円) / 高・大学生500円(400円) / 中学生以下無料

※本料金にて「日高理恵子 空と樹と」もご覧いただけます ( )内は20名様以上の団体割引

主催：ヴァンジ彫刻庭園美術館



棚田康司《父になった少女、母になった少年》2008年 ©Koji Tanada



宮崎学《柿の木》1997-98年 ©Manabu Miyazaki



小林孝巨《Tree》1995年  
©Kobayashi Takanobu, Courtesy of Nishimura Gallery



イケムラレイコ《頭から木々がはえて》2013年 ©Leiko Ikemura

## 展覧会概要

ヴァンジ彫刻庭園美術館は、このたび開館15周年を記念し、所蔵作品を中心に、現代においても人間を魅了し続ける樹木について考える「生命の樹」展を開催いたします。

古来より、樹木のイメージは旧約聖書の「生命の樹」や「知恵の樹」に始まり、さまざまな時代、文化に描かれてきました。現代においては画家や彫刻家のみならず、写真家も樹木と向き合い、対話を重ねてきました。写真家の宮崎学は、長野県伊那谷の寒村に立つ一本の柿の木と出会い、約2年間、丘の上の柿の木をめぐる四季と時代とともに移りゆく風景を記録します。本橋成一は、西アフリカ・セネガルの村でバオバブとともに生きる人々の暮らしを写真と映画に記録し、バオバブの表面の幹に刻まれたしるしを解読しようと試みません。現代日本における彫刻を追究し続けてきた戸谷成雄は、現代に失われた森を発掘していくように木々にチェーンソーを入れ、同じく木を素材とする彫刻家・棚田康司は、木と出会い、木に命を見出すように少年少女の姿を彫り出します。そして多くの画家たちは、夢の中に現れるような樹木を巨大なキャンバスに描いており、本展覧会では、現代においても繰り返し描かれている樹をテーマとした絵画を一堂にご覧いただきます。15名の作家たちが表現した樹木との対話を通して浮かび上がってくる現代人の姿、「いのち」のかたちをご体感ください。

## 展覧会のみどころ

### 1 ロゼリネ・ルドヴィコ (Rosilene Luduvico) の滞在制作の成果を展示

ロゼリネ・ルドヴィコの日本の美術館では初めての滞在制作の成果による作品を展示します。



Rosilene Luduvico 《Ypy》2015年  
Photo:Achim Kukulies, Düsseldorf

### 2 佐々木愛の公開制作を実施

展覧会前から会期中にかけて（2017年4月末完成予定）、佐々木愛がヴァンジ彫刻庭園美術館の大きな窓にシュガードローイングによる6本の樹を描きます。



佐々木愛《はじまりの船》2014年 ©Ai Sasaki



Photo: Fumihito Katamura

### 3 華雪がパフォーマンスを実施

書家の華雪が、「生命の樹」をテーマに書のパフォーマンスを実施いたします（2017年4月28日（金）13:30-15:30実施予定）。パフォーマンスで生まれた作品は、本展会期に合わせて美術館に展示いたします。

展覧会名 | 開館15周年記念展「生命の樹」

参加作家 | Rosilene Luduvico、小林孝巨、佐々木愛、杉戸洋、スズキコージ、村瀬恭子、持塚三樹、華雪、大矢真梨子、宮崎学、本橋成一、イケムラレイコ、棚田康司、戸谷成雄、Giuliano Vangi

会 期 | 2017（平成29年）年4月22日（土）— 11月30日（木）

主 催 | ヴァンジ彫刻庭園美術館

開館時間 | 4-8月 10:00-18:00 / 9-10月 10:00-17:00 / 11月 10:00-16:30（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日 | 水曜日（5月3日（水）は開館）

入 館 料 | 4-10月 大人 1,200円（1,100円） / 高・大学生 800円（700円） / 中学生以下無料

11月 大人 1,000円（900円） / 高・大学生 500円（400円） / 中学生以下無料

※（ ）内は20名様以上の団体割引

会 場 | ヴァンジ彫刻庭園美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 347-1

TEL 055-989-8787 FAX 055-989-8790 www.vangi-museum.jp



## 作家紹介

### ロゼリネ・ルドヴィコ Rosilene Luduvico

1969年ブラジル・エスプリサント生まれ。  
1997年から2003年まで、国立デュッセルドルフ芸術アカデミー（ドイツ）に在籍。1999年にマイスター・シューラー取得。2007年、「Two Summers at Parkhaus」展にて杉戸洋と2人展を開催（パークハウス、デュッセルドルフ、ドイツ、2007年）。世界各国にて個展、グループ展に参加。

### 小林孝亘 Takanobu Kobayashi

1960年東京都生まれ。1986年、愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業。1996年VOCA奨励賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてタイのバンコクに1年間滞在。主な個展に「終わらない夏」（目黒区美術館、東京、2004年）、「遠い光」（西村画廊、東京、2008年）。

### 佐々木愛 Ai Sasaki

1976年大阪府生まれ。2001年、金沢美術工芸大学美術学部デザイン科視覚デザイン卒業。主な展覧会に「21世紀アートプロジェクト 佐々木愛 Four Songs」（ベルナルド・ビュフェ美術館、静岡、2014年）。あいちトリエンナーレ 2016（愛知県豊橋市、2016年）。2010年ポーラ美術振興財団 在外研修生としてオーストラリアに滞在。

### 杉戸洋 Hiroshi Sugito

1970年愛知県生まれ。1992年愛知県立芸術大学美術学部日本画科卒業。東京藝術大学美術学部絵画科油画准教授。主な個展に「voyager」（愛知県美術館、愛知、2002年）、「April Song」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2006年）、「天井の下地」（宮城県美術館、宮城、2015年）「こっぴとあまつぶ」（豊田市美術館、愛知、2016年）。

### スズキコージ Koji Suzuki

1948年静岡県生まれ。1971年、『ゆきむすめ』で絵本画家としてデビュー。1987年に『エンソくん きしゃにのる』で小学館絵画賞、2009年に『ブラックンダー』で日本絵本賞大賞を受賞。映画・演劇のポスター、看板・壁画の制作、ライブペインティング、美術館やギャラリーでの個展など、活動は多岐にわたる。

### 村瀬恭子 Kyoko Murase

1963年岐阜県生まれ。1989年、愛知県立芸術大学大学院修了。1990年から1996年まで、国立デュッセルドルフ芸術アカデミー（ドイツ）に在籍。1993年には、コンラッド・クラベックよりマイスター・シューラー取得。主な個展に、「サファイア」（タカ・イシイギャラリー、東京、2010年）、「Fluttering far away」（豊田市美術館、愛知、2010年）、「セミとミミズク」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2007年）など。

### 持塚三樹 Miki Mochizuka

1974年静岡県生まれ。常葉学園短期大学美術・デザイン科卒業。主な個展に「持塚三樹 Sun Day」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2012年）、「Quadrangle」（Misako&Rosen、東京、2012年）。グループ展に「Small Sculpture」（シェーン・キャンベルギャラリー、シカゴ、アメリカ、2015年）、「絵画の在りか」（東京オペラシティアートギャラリー、東京、2014年）。

### 華雪 Kasetsu

書家。1975年京都生まれ。92年より個展を中心に活動。「文字を使った表現の可能性を探ること」を主に、国内外でワークショップを開催。舞踏家など他分野の作家との共同制作も多数。近年は「高橋コレクション」はじめ、現代美術の場でも作品を発表。刊行物に『静物画』（2001年、平凡社）、『石の遊び』（2003年、平凡社）、『書の棲処』（2006年、赤土舎）がある。

### 大矢真梨子 Mariko Ohya

1983年愛知県生まれ。2008年日本大学芸術学研究所映像芸術専攻博士前期課程修了。主な個展に「sky, trees, earth,」（OFS ギャラリー、東京、2015年）、「BERYL」（HCL フォトギャラリー名古屋、愛知、2013年）。

### 宮崎学 Manabu Miyazaki

1949年長野県生まれ。1978年『ふくろう』で第1回絵本にっぽん大賞、1982年『鷲と鷹』で日本写真協会新人賞、1990年『フクロウ』で第9回土門拳賞、1995年『死』で日本写真家協会年度賞、『アニマル黙示録』で講談社出版文化賞受賞。主な個展に「宮崎学 自然の鉛筆」（IZU PHOTO MUSEUM、静岡、2013年）。

### 本橋成一 Motohasi Seiichi

1940年東京都生まれ。1963年、自由学園卒業。1968年「炭鉱くヤマ」で第5回太陽賞受賞。1998年、写真展「ナージャの村」で第17回土門拳賞受賞。2002年、映画「アレクセイと泉」で第52回ベルリン映画祭ベルリナー新聞賞及び国際シネクラブ賞ほか受賞。主な個展に「本橋成一 在り処」（IZU PHOTO MUSEUM、静岡、2016年）。

### イケムラレイコ Leiko Ikemura

三重県生まれ。1970-72年大阪外国語大学スペイン語科に在籍後、セビリア美術大学に学ぶ。主な個展に「イケムラレイコ うつりゆくもの」（東京国立近代美術館、東京 / 三重県立美術館、三重、2011-12年）、「Leiko Ikemura:i-migration」（カールスルーエ州立美術館、ドイツ、2013年）、「イケムラレイコ PLOON」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2014年）。

### 棚田康司 Koji Tanada

1968年兵庫県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2001年文化庁芸術家在外研修員として7ヶ月ベルリンに滞在。主な個展に「十一の少年、一の少女」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2008年）、「たちのぼる。」（練馬区立美術館、東京、2012年 / 伊丹市立美術館、兵庫、2013年）。

### 戸谷成雄 Shigeo Toya

1947年長野県生まれ。1975年、愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻科修了。武蔵野美術大学彫刻学科教授。主な個展に「戸谷成雄展 - 橋本平八と北園克衛展」（三重県立美術館、三重、2010年）、「洞穴の記憶」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2011-2012年）。

### ジュリアーノ・ヴァンジ Giuliano Vangi

1931年イタリア・フィレンツェ生まれ。フィレンツェ国立美術学校卒業。1995年、フィレンツェ、ベルヴェデーレで大回顧展開催。2002年、ヴァンジ彫刻庭園美術館が開館、高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。2004年、レンゾ・ピアノ設計聖パードレ・ピオ教会の説教壇が完成。

展覧会関連イベント

華雪書のワークショップ

日時：6月11日（日）予定  
 対象：小学生以上であればどなたでも  
 定員：20名（要予約・先着順）  
 ※申し込み開始：~~4月3日（月）10:00より~~  
 ※申し込み開始日が変更となりました。  
 変更後：4月28日（金）10:00より

スズキコージワークショップ

日程：8月27日（日）予定  
 対象：小学生以上であればどなたでも  
 定員：20名（要予約・先着順）  
 ※申し込み開始：7月3日（月）10:00より

持塚三樹 水彩ワークショップ

日程：9月予定  
 対象：高校生以上  
 定員：15名（要予約・先着順）  
 ※申し込み開始：7月3日（月）10:00より

※ワークショップの詳細は、随時ヴァンジ彫刻庭園美術館ウェブサイトにて更新いたします。  
 ※上記以外にも会期中にワークショップやイベントを多数開催予定です。

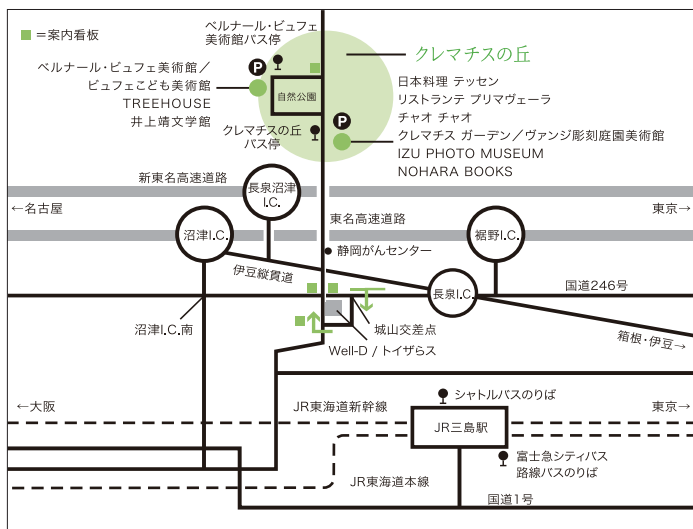
学芸員によるギャラリートーク

会場にて担当学芸員が展覧会概要と作品の解説を行います。  
 日時：毎週日曜日 14:15-（約40分）  
 料金：当日の入館料のみ  
 会場：ヴァンジ彫刻庭園美術館  
 予約方法：申込不要（当日の観覧券をお持ちのうえ、直接会場にお集まりください）

同時開催の展覧会情報

展覧会名 | 日高理恵子 空と樹と  
 会 期 | 2017（平成29年）年4月22日（土）-11月30日（木）  
 主 催 | ヴァンジ彫刻庭園美術館  
 協 力 | 小山登美夫ギャラリー、エクリ  
 開館時間 | 4-8月 10:00-18:00 / 9-10月 10:00-17:00 / 11月 10:00-16:30（入館は閉館の30分前まで）  
 休 館 日 | 水曜日（5月3日（水）は開館）  
 入 館 料 | 4-10月 大人1,200円（1,100円） / 高・大学生800円（700円） / 中学生以下無料  
 11月 大人1,000円（900円） / 高・大学生500円（400円） / 中学生以下無料  
 \*（ ）内は20名様以上の団体割引  
 会 場 | ヴァンジ彫刻庭園美術館

アクセス情報



お車の場合

東京方面より：東名裾野 I.C. より R246 経由、沼津方面へ 10km  
 名古屋方面より：新東名 長泉沼津 I.C. もしくは、東名沼津 I.C. より伊豆縦貫道へ、長泉 I.C. 出口 R246 右折 / 新東名 長泉沼津 I.C. より 5km

電車の場合

JR 東海道線「三島駅」下車、北口3番乗り場発、無料シャトルバスあり（所要時間約25分）

○行き[三島駅]北口(3番乗り場)発								
時	9	10	11	12	13	14	15	17
分	平日	40	40	40	—	00	00	00
	土日祝	40	40	40	—	40	40	—
○帰り[クレマチスの丘]発								
時	9	10	11	12	13	14	15	17
分	平日	—	15	15	15	35	35	20*
	土日祝	—	15	15	—	15	15	20

\*は御殿場線「裾野駅」経由、三島駅南口行きです（所要時間約45分）

下の画像を広報画像として配布いたします。

ご希望の方は、ご希望の画像にチェックし必要事項をご記入の上、下記宛先までメールまたはFAXくださいますよう、お願いいたします。

- お願い：1. 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。  
 2. クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。  
 3. ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号

発売日／放映日

年

月

日

貴社名

ご担当者様

TEL

FAX

E - MAIL

資料お届け期限

月

日 まで



杉戸洋《the day going back home》1996年  
©Hiroshi Sugito



本橋成一《バオバブの記憶》2009年 ©Motohashi Seiichi



小林孝亘《Tree》1995年 ©Kobayashi Takanobu  
Courtesy of Nishimura Gallery



棚田康司《父になった少女、母になった少年》2008年 ©Koji Tanada

お問い合わせ

クレマチスの丘広報担当：伊藤佳乃

E-mail: [y-ito@clematis-no-oka.co.jp](mailto:y-ito@clematis-no-oka.co.jp)

FAX: 055-989-8790

ヴァンジ彫刻庭園美術館

〒411-0931

静岡県長泉町東野クレマチスの丘 347-1

TEL 055-989-8785

[www.vangi-museum.jp](http://www.vangi-museum.jp)